

幸田町 教育大綱

令和4年度(2022年度)～令和8年度(2026年度)

①西暦表記を追加

1 教育大綱 策定にあたって



1 教育大綱策定の背景

平成29年3月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、幸田町教育大綱を策定しました。この大綱は、平成29年度(2017年度)から令和3年度(2021年度)までを実施期間としていることから、今後5年間の教育に関する目標や施策の根本となる方針として、幸田町教育大綱 令和4年度(2022年度)～令和8年度(2026年度)を策定しました。

②西暦表記を追加

2 教育大綱の位置づけ

この大綱は、幸田町がめざすべき将来像を「みんなでつくる 元気な幸田」とする第6次幸田町総合計画の基本構想に基づき、本町の教育行政を推進するための基本方針であり、各分野の目指すべき姿の実現に向けた施策を示すものです。

3 教育大綱の実施期間

教育大綱の実施期間は、令和4年度(2022年度)から令和8年度(2026年度)までの5年間とします。ただし、総合教育会議において、社会情勢の変化に柔軟に対応できるよう状況に応じて適宜見直しを行うものとします。

年度 (西暦)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)
幸田町 総合計画	←第6次幸田町総合計画(10年間)→					←第7次幸田町総合計画(予定)→					
幸田町 教育大綱	幸田町 教育大綱	←幸田町教育大綱 令和4年度(2022年度) ～令和8年度(2026年度)→				←幸田町教育大綱 令和9年度(2027年度) ～令和13年度(2031年度)(予定)→					
【参考】 愛知県 教育大綱	←愛知の教育に関する大綱(2021年度～ 2025年度)→										

II

教育の 基本理念

幸田町は三方を山並みに囲まれ、農地、河川、ため池が多数存在する自然豊かな町です。町を南北に縦貫する東海道本線には3つの駅があり、国道23号名豊道路と国道248号が交差するように走り、広域交通の要衝となっています。

心休まる豊かな自然と里山の風景が調和しながら発展していく町並みを大切にしつつ、ここに生まれた喜びと、ここで働く生きがいと、ここで生活する安らぎを感じられる町として、将来にわたって成長していくための取組みを推進していきます。

町民が、心豊かに生き生きと生活できるように「第6次幸田町総合計画」に基づき、幸田町の教育の基本理念を次のように決めました。

- ・ **自然と調和する豊かな心を醸成する。**
- ・ **共同し創造する喜びを味わえる取組みを推進する。**
- ・ **心身の健康を保持し、活力ある生活づくりを支援する。**
- ・ **町民の主体性を尊重し、学び続ける取組みを支援する。**



III 施策が

目指す姿

安心して子どもを育てられる。



子どもを産み、育てたいと思える社会やまちづくりに向けて、すべての子どもと子育て世代を社会全体で支えていく仕組みづくりを推進します。

子ども会や児童館・多世代交流施設での活動を通じて、世代を超えた地域の人と交流できる場所を整備し、次代を担う子どもたちを見守り、地域全体で子育てを支援します。



③「自分自身への」を削除
(修正前 自然災害を自分自身への身近な危険として認識し)

未来を担う子どもたちが 良い環境で学んでいる。

未来を担う子どもたちがこれからの社会を力強く生き抜くためには、豊かなところと確かな学力、丈夫な体をバランスよく鍛えていくことが大切です。「心身ともに健やかな子どもたちの育成」を目指します。

地域や家庭においても若者たちが健やかに成長するよう、積極的な声掛けやかかわりあいを促し、明るい家庭や地域全体で青少年の健全育成を推進します。

大規模災害や感染症の拡大等で、学校が通常の教育活動を行えないときでも、ICTの活用など、子どもたち一人一人とつながって対応できる、安心して安全な、学びを止めない環境の整備に努めます。また、自然災害を身近な危険として認識し、必要な知識を持つなど、防災意識の高揚を図ります。

これらに必要な質の高い教育を提供するため、教師が教師でなければできないことに全力投球できる環境の整備に努めます。



いつだって、
だれだって学べる。

学習やスポーツなどの活用を通じて、さまざまな人や地域とのコミュニケーションが生まれ、社会全体の横のつながりが期待できます。

自主的な学習やスポーツを促進するため、行政としても各種講座や学習に関する情報の提供、活動場所の整備を行うとともに、さまざまな学習によって得た成果を活かし発表する場を設け、意欲的な取り組みの拡大に努め、学ぶ喜び、成長する喜びを広げます。

多様な人々と生活し協働・協創する中で、自分自身のアイデンティティと物事を多面的に捉える見方や考え方を身に付けられるような機会の確保に努めます。

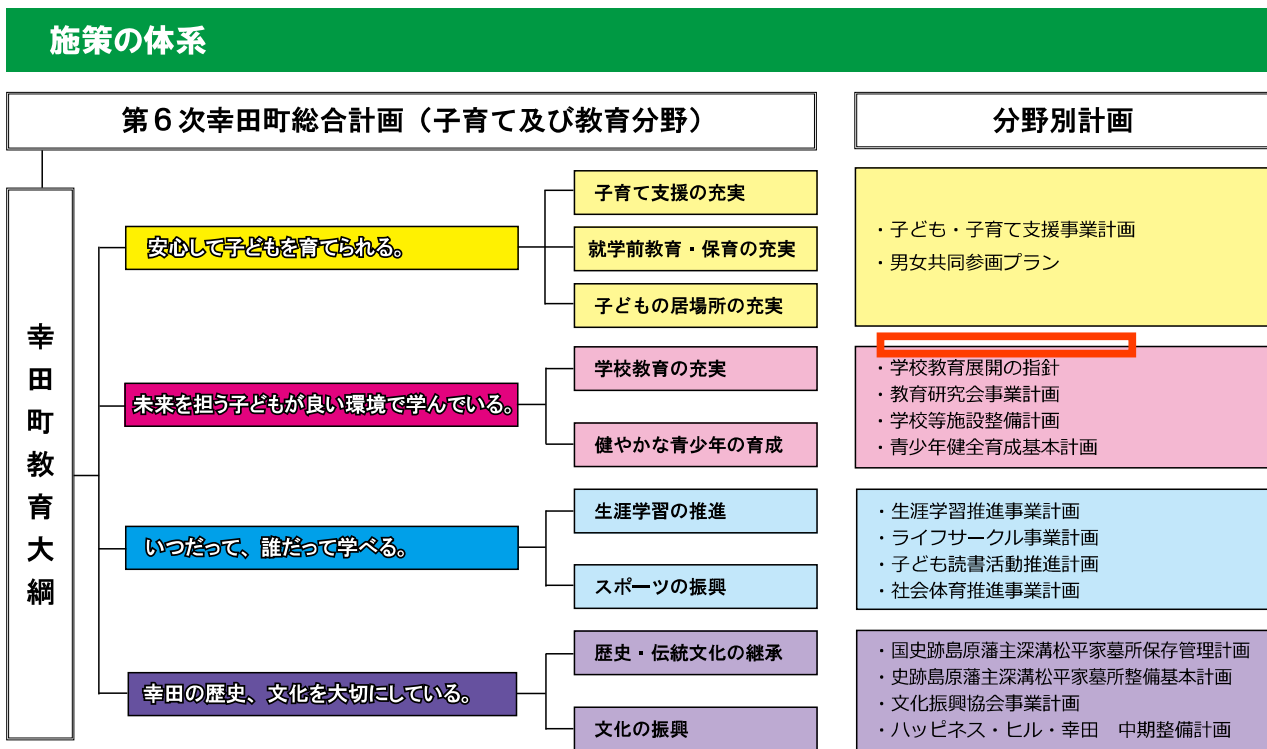


歴史や文化は、先人たちの営みの結晶であり、私たちが自らのルーツを知るうえで、とても大切なものです。先人たちの知恵や芸術、文化に学び、これらを継承していきます。

文化芸術の拠点であるハッピーネス・ヒル・幸田は、町民が文化芸術に触れ、相互に交流する場となっています。老朽化が進む各施設の計画的な修繕を行い、文化振興協会や文化協会との連携を強化し、質の高い文化芸術の提供や内容の充実に努め、文化芸術のすそ野を広げていきます。

幸田の歴史、文化を大切にしている。





教育大綱の基本施策

安心して子どもを育てられる。	未来を担う子どもが 良い環境で学んでいる。	いつだって、誰だって学べる。	幸田の歴史、 文化を大切にしている。
子育て支援の充実	学校教育の充実	生涯学習の推薦	歴史・伝統文化の継承
多種多様な相談に対応できる体制の整備	地域素材の教材化、地域人材の活用 学校施設の地域開放	多様なニーズに応じた学ぶ機会の提供 自主活動団体の育成	文化財の保護・活用 (仮)新博物館の建設検討
子育て情報の提供と学習機会の充実 親子のふれあい・親同士のつながりの促進と場所の確保	学校評議員会及び学校関係者評価委員会の運営 地域に根ざした特色ある学校づくり	各種団体と地域との交流推進 読書に親しむ意識の向上と環境づくり	国指定史跡「島原藩主深溝松平家墓所」の整備・保存 国指定重要無形民俗文化財「三河万歳」の保存活動や後継者育成の支援
子育て支援センターの利用促進 ファミリー・サポート・センター事業の利用促進	教えやすく、学びやすい学習環境の整備（GIGAスクール構想含む） 基礎、基本をしっかり学ぶ少人数指導の展開 通級指導・特別支援	スポーツの振興 生涯にわたるスポーツ活動の推進 スポーツ施設の整備 各種スポーツクラブの育成支援 スポーツに参加する機会の充実	文化の振興 文化活動の支援 質の高い文化・芸術の提供と内容の充実 ハッピネス・ヒル・幸田の計画的整備
就学前教育・保育の充実	学校図書館活動の充実	各競技（団体・チーム）の情報発信 町民プールの利用促進	文化・芸術を身近に感じられる事業の展開
3歳未満児を始めとした待機児童対策 ニーズに応じた幼児教育・保育の提供 延長・休日保育等の推進	就学困難な児童への就学補助 教育幼小中高連携教育の推進 交通安全、防犯・防災の取組の充実	地域、親子、家族が参加するスポーツ 教室・スポーツイベントの開催 (仮)総合体育館の建設検討	
小規模保育事業所の誘致	健やかな青少年の育成 ボランティア体験学習		
病児・病後児保育事業の推進	思春期の心と体の健康づくり 地域活動等への積極的な参加の促進		
子どもの居場所の充実			
放課後児童クラブの受入体制の充実 新たな児童館の建設と活動の充実			
「子どもの権利に関する条例」の周知・啓発活動 子ども会活動の推進			

⑤「私立認定こども園」を「小規模保育事業所」に変更



令和3年(2021年)12月

幸田町

⑥西暦表記を追加、「11月」を「12月」に変更

